



REINANZAKA SCOUT CLUB



2010年
10月15日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-3 電話：03-3583-0403
ホームページ <http://reinanzaka-sc.cocolog-nifty.com/>
<http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>

No.39

チャーチスカウトである私たちは、何と幸いなことでしょう 霊南坂教会伝道師 吉岡恵生



「アブラムは、主の言葉に従って旅立った。」(創世記12章4節)

創世記12章には、アブラムという男の壮大な旅物語が描かれています。

ある日突然、神がアブラムに語りかけ、「あなたは生まれ故郷を離れて、わたしが示す地に行きなさい」と言われるのです。生まれ故郷を離れるという事は、慣れ親しんだ環境を離れ、未知なる領域に新たな一步を踏み出す事を意味しています。それは誰にでも恐ろしい事です。しかし、アブラムは「わたしの示す地に行きなさい」との神の言葉に全てを委ね、不安や恐れの中に希望を見出し、その旅路を突き進んで行きました。

私たちは自らの将来を知る事はできません。明日自分がどのような出来事に遭遇するのか、それは誰にも分からない事なのです。だからこそ私たちは自らの人生に不安を抱きます。明日の事を思い悩みます。そして、自らの歩みに希望を持てなくなります。ある意味、それは当然の事です。「主なる神は、土の塵で人を形づくり、その鼻に息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」(創世記

2章7節)と聖書に記されているように、私たちは土の塵のように壊れやすく、弱い存在として創られたのですから。

私は2010年4月より霊南坂教会伝道師に就任しました。これまでスカウトと関わることは皆無でしたが、霊南坂教会との出会いにより、人生で初めてスカウト活動に触れる機会が与えられています。今年の夏は、ボーイ、ガール各隊のキャンプに参加させて頂きました。キャンプではスカウト達の力強さに圧倒されたことを覚えています。テント設営、火起こし、テーブルまでも自分たちで作る。数日間お風呂に入れなくても問題なし。一人ひとりの力強さ、技術の高さにただただ感心するばかりでした。

このような日々を通して私が感じた事の一つは、スカウト活動とはまさに旅そのものであるということでした。日々新しい事に挑戦する。日常から離れる。未知なる領域に足を踏み入れる。それはまさに、アブラムの旅と重なり合うものがあると感じたのです。アブラムは不安や恐怖の中にあっても、絶大な神という存在を支えに前に進みました。

私たちスカウトの旅路においても、きっと同じ神の力が働いていることでしょう。

Difficulties are not without their blessings. They open a tremendous opportunity and a field for youngmen who are now coming on.

HeadquartersGazette, 1921



ベーデン・パウエル卿の言葉

**困難は神の祝福なしではありません。
若者の進む先に大きなチャンスと活躍の場を開きます。**

スカウト一人ひとりに与えられた旅の物語が、今日も霊南坂の地で描かれています。

日々新たな事に挑戦し、学び、成長する。その過程には時に困難な事もあるかもしれませんが、そこには必ず、神の守りと力強い導きが備えられているはずです。

チャーチスカウトである私たちにはそのような希望が与えられています。何と幸いなことでしょうか。



上級救命法講習会を開催しました

スカウトクラブ、サポート隊では昨年が続いて、上級救命法講習会を2010年5月29日(土) 霊南坂教会3階ホールで開催しました。受講終了者には、東京消防庁より上級救命技能認定証(3年間有効)が発行されました。



リーダーのための スグ役に立つ研修会

スカウトクラブ主催でリーダーがすぐに役立つゲームや遊びの研修会を2010年6月26日(土) 教会の1Fホールで総合体育研究所の山田秀一講師をお招きして開催しました。



山田講師は主に幼稚園や保育園で保育時間に体操を教え課外ではサッカー教室や体操教室を行っています。若手の育成や、保育従事者を対象とした研修活動を主にされている方です。

港区の保育園でも、現代の子どもたちが抱えている姿勢の悪さや運動能力の低下を補っていけるような運動遊びを保育に生かしたいと園内研修の一環として行っています。すぐ使える手遊び、指遊び、運動遊び、ゲームの数々を短い時間にたくさん教えていただきました。研修の間、リーダーの大人が声を上げて遊ぶ姿が見られ、すぐにスカウトたちに還元されそうです。

「Look Wide～アフガニスタンについて知ろう」

9月11日のスカウトの日にAJ-SEPの提供により「Look Wide～アフガニスタンについて知ろう」をテーマでガールスカウトとボーイスカウトが共催でアジア学院の山口敦史さんを講師に迎えアフガニスタンの現状を伺い平和と農業の大切さを学びました。



スクリーンを使ってスカウトと同じ高さでお話してくれました。

アフガニスタンの話を聞いて GSJr. 望月優美

アフガニスタンの子供たちは、長い間戦争にまきこまれて、家も学校も無くなってしまった。どうしてアフガニスタンで戦争しなきゃいけないのか……。戦争をして国の人々が亡くなっていく。それでもなぜ戦争したいのか……。私にはよく意味がわからない。

今日、ペシャワール会の山口さんのお話を聞いて、とっても日本の子供みたいに、みんな学校にかよっていたり、全然仕事しないとか……。

アフガニスタンの人たちにはありえない事だ。日本みたいに、じゃぐちをひねったら当たり前の事のように水が出てこない。

がんばって井戸を作ったら水が出てくる。

とってもすごいと思った。

その水を子供が毎朝はこぶという事もすごかった。

アフガニスタンに早く平和がくるといいな。



スカウトクラブ員による教会バザーのポスター完成



カラーで掲載できないのが残念ですが、とてもきれいな作品です。カラーでご覧になりたい方はクラブのホームページでご覧になれます。ダウンロードしたい方は下記のURLからどうぞ。

このポスターをデザインした笹本(中田)信子さんはGSのリーダーでスカウトクラブのメンバーです。通称「のんの」から次の便りを頂きました。「今は浜松で元気に主婦をしています!いつも会報とスカウトクラブのブログを楽しんで拝見させて頂いています。ありがとうございます。」このポスターのダウンロードはこちらできます。

<http://www.gs-tokyo4.sakura.ne.jp/2010/BazaarP.pdf>

リレー投稿 スカウトになって

GS副団委員長 矢島尊子

1963年教会の礼拝堂でガールスカウトブラウニーの入団式をしました。

その時の記憶はあまりないのですが、あずき色のスカートとブラウニーピンのマークがついたとんがり帽子妖精にしては些か体の大きいスカウトだったと思います。あれから47年もうすぐ半世紀ちかくなります。

私が親になりガールスカウト・ボーイスカウトに子供達を入団させました。私が初めて経験する自分の子供がスカウトで、私が保護者の立場です。私がリーダーをしている時は先輩に聞いたところ、当時リーダーの私達のやるキャンプのプログラムや指導は相当ヒヤヒヤだったそうです。何も言わずにやらせて下さった先輩に今も感謝しています。ですから、その時の先輩の事を見習いリーダーに対して温かく見守る事を保護者として心がけました。出来たかどうかは当時のリーダーのみが知っています。

また、ビーバースカウトの副長補で集会やキャンプに参加させて貰った時はとても楽しく、ビーバースカウトという幼稚園年長と小学校一年生一番子供らしい年令だったせい子供たちと一緒にスカウティングを楽しめた時でした。

この数年間、副団委員長として団の運営に携わるようになりました。

そして今、多くの方々と関わりスカウトやリーダーの成長する姿は嬉しさと楽しさ、そしてびっくりする事に私に毎回教えてくれます。私も知らず知らずのうちに成長できたかな?と思っています。

これからも、霊南坂スカウトの活動をもっと楽しくなるように皆様と一緒に歩んで行けたらと思います。

今回はBSの石井道子さんにリレーします。

霊南坂スカウトこれからの予定

10月23日(土): 教会バザー

10月31日(日): 秋のバスピクニック

長野県栄村: スカウトキャンプ場
主催: スカウトクラブ

11月19日(金): 第3回スピバコフ

チャリティーコンサート
後援: スカウトクラブほか

12月11日(土): スカウト合同クリスマス礼拝
2011年

1月15日(土): スカウト合同 餅つき

2月20日(日): スカウトサンデー

スカウトクラブ総会

楽しかった夏キャンプ ブラウニー 加部馨和子



8月8日から10日の夏キャンプの中で一番楽しかったのはクラフトを作ったことです。

木のコースターをヤスリでけずることです。ヤスリで木のコースターをけずると木のコースターがつるつるになるので手でさわった感じが気持ちいいです。ヤスリは2枚あってさいしょに使ったのはあらいヤスリで、次に使ったヤスリはあらい目のないヤスリでした。つるつるになったらマジックで「2010 ブラウニーキャンプ」と書きました。うらにハートを描いてまん中にかん字で名前を書きました。そく面にピンクをぬってたくさん白でリボンを描きました。きれいにできてうれしかったです。千葉市少年自然の家から帰ってきたら私の家のげんかんにかざりました。その上にビーズで作ったはくちょうをのせました。

8月8日から10日の夏キャンプの中で一番楽しかったのはクラフトを作ったことです。木のコースターをヤスリでけずることです。ヤスリで木のコースターをけずると木のコースターがつるつるになるので手でさわった感じが気持ちいいです。ヤスリは2枚あってさいしょに使ったのはあらいヤスリで、次に使ったヤスリはあらい目のないヤスリでした。つるつるになったらマジックで「2010 ブラウニーキャンプ」と書きました。うらにハートを描いてまん中にかん字で名前を書きました。そく面にピンクをぬってたくさん白でリボンを描きました。きれいにできてうれしかったです。千葉市少年自然の家から帰ってきたら私の家のげんかんにかざりました。その上にビーズで作ったはくちょうをのせました。

見られない生き物」です。アヒル、ヘビ、カエルなど都会に住んでいると出会えない生き物をたくさん見つけました。私のジュニア最後のキャンプは、忘れられない思い出になりました。

夏デイキャンプ Ra. 村井優来



2010年度レンジャーの夏デイキャンプでは生活の中での水というテーマでプログラムに取り組みました。

食事を作る時にどれくらいの水を使っているのか、ひしゃくとバケツを使ってこまめに測りました。

プログラムではろ過装置を使って泥水をろ過したり、ろ過した水と蒸留水、山中湖の水、水道水を使い水質調査を行いました。ろ過装置を使っての実験では、2、3回ろ過しただけでも、泥水はかなりきれいになり、私たちが普段飲んでいる水も、たくさんの山を通ってきれいになっていくことを実感しました。

今回のキャンプでは私たちの毎日の生活の中でどれくらいの水をどのようなことに使っているのかを知る素晴らしい機会でした。

この経験を通して、毎日の生活の中で水の使い方に気を配るようになり、なるべく節水しようと心がけられるようになりました。

夏キャンプ

ジュニア 浦江 香菜子



今年も夏キャンプに行ってきました。私は、キャンプで「ふだん見られない、できない」をたくさん発見し、経験しました。私が一番心に残った事はハイキングです。発見したのは、「ふだん

セブンセンス 広告

82,36×115,75





今年1月から3ヶ月間、ガールスカウト・ワールドセンターの1つ、イギリス・ロンドンのPax Lodgeにボランティアスタッフとして派遣させて頂き、毎日が本当に刺激的な日々でした。

ガールスカウトであれば、何度も耳にしているワールドセンターは、スイス・イギリス・メキシコ・インドの世界4カ国にあり、会員であれば誰もが訪れ、宿泊することのできる「世界共通のスカウトの家」です。施設運営のメインは世界中から募った10人程度のヤングリーダーのボランティアによるもので、国境を越えた仲間と生活を共にしながら仕事を行います。希望した期間働き、国に戻るというシステムのため、スタッフの入れ替わりがとても激しいです。ですからその分、限られた期間で、また偶然に出会った者同士結ばれる友情は厚いように思います。

毎日たくさんのゲストを迎えるワールドセンターですから、ゲストルームの掃除やベットメイキング、テーブルセッティング、館内ツアーやプログラムの計画など、Pax Lodgeの日々は楽しくも大忙しです。例えば私の派遣時にはワールドシンキングデーや100周年の記念

式典があったので、約200人の来客を迎えたイギリス本場でのイベントデーはとても盛り上がりましたが、準備や打ち合わせでとても忙しかったのを覚えています。とにかく今までの人生、こんなにも異なる国籍の人々の英語を聞いたことはありませんでした。アジアからの派遣は私1人でしたので、もちろん言葉の壁に不安を感じることも少なくありませんでした。国によっては母国語が英語でないにも関わらず、流暢に英語を話す友達も居ましたが、その点に関してはめげることなく、暢気な性格も手伝ったのか、私は日本人として堂々あるべきだと思ひ、あまり心配しませんでした。

実際、2ヶ月間で会話能力がすごく伸びたとみんなに言ってもらえることも出来、とても嬉しかったです。ガールの海外交流の場では、必ずしも会話能力や言語の違いが1番大切なことではないと思います。「はじめまして」でも、出会う前からお互いスカウトであるというだけで、たくさんの共通点を持つ、不思議な仲間が集うのがワールドセンターです。ワールドセンターで出会えた仲間は本当に一生ものだと思います。

休暇の思い出としては、訪ねてくれた日本人の友人とバスで片道9時間かけてスコットランドを旅したこと。バスでベルギーとパリへ一人旅したこと。はじめて海外で迎えた誕生日。St. Patrick's Dayの夜、スタッフのみんなとアイリッシュバーで生のアイリッシュバンド演奏を聴いたこと。週に2日の休みを使って、スタッフは思う存分にヨーロッパを満喫できます。それもまた大きな楽しみでした。最後になりますが、全く同じ経験はもう2度と出来ないですし、同じメンバーで、全員同時に揃うことももうきつくないでしょう。

こんな貴重なチャンスがたくさんあるスカウト活動で、より多くの後輩がスタッフとしてあとに続くことを願っています。

インターナショナルキャンプに参加して

Ra. 中山まりえ

“Tell Us What You Think (あなたの考えてることを聞かせて)”これは世界でガールスカウト活動が始まって100周年、日本では90周年である今年、日本連盟から全国のスカウトに向けて投げかけられたメッセージです。

100周年、90周年をあなたならどうやってお祝いする？考えを聞かせて！という意味が込められています。

そうして集まった全国のスカウトの「声」に「海外のガールスカウトと一緒にキャンプをしたい。」という意見が数多くありました。その声を実現した企画が、今

回私が参加した戸隠インターナショナルキャンプです。

会場になった長野県にある戸隠ガールスカウトセンターも、今年で50周年になります。キャンプに集まったスカウトは、日本のスカウト約300人、世界13ヶ国の海外スカウト約100人でした。

キャンプ場では大きく4つのエリアに別れ、各エリアごとに6つのユニットが出来、さらにユニットごとに4つのパトロールに別れます。とても大規模なキャンプに、初めて説明を受けた時は圧倒されました。それと同時に他の地域や国のスカウト達に会いたい！友達になりたい！とつよく思ったのを覚えています。普段の団キャン

プより長い4泊5日のキャンプでしたが、始まってみると本当にあっという間でした。初日は全員初めて会った子だけのパトロールで戸惑いや緊張を感じましたが、最終日にはお互いに涙ながらにハグして別れを惜しましました。何もかもが本当に大切な出会いばかりで、自分の中で大きく成長したのがあるのを感じました。

5日間のキャンプのうち、特に感動した3日目の夜のプログラム“インターナショナルナイト”についてお伝えします。

このプログラムは、日本のスカウトに向けて、海外のスカウトが自分たちの国の踊りや歌をそれぞれの国の衣装に身を包み披露する、という企画です。

そこで私は、今まで知っていた国、知らなかった国の文化を初めて間近に見て、聞いて、言葉に出来ない感動を確かに味わいました。韓国のチマチョゴリの鮮や

かさや、U.K.のロックンロールの賑やかなこと、キューートの古くからの宗教を拝む心が、今でも目や耳、心に鮮明に残っています。

素晴らしいものを見て、言葉に出来ずに涙が溢れるという不思議な体験を初めてしました。

皆さんがもし、今回のような大規模なキャンプ、または地区や支部、あるいは全国のギャザリングなど、他のスカウト達と出会うことの出来る機会があれば、臆することなく参加することをお勧めします。それは絶対に自分にとってプラスの事になることばかりだし、ガールスカウトを通じて自分の世界がぐんと広がる絶好のチャンスです。

将来の夢や、なりたい自分になることが出来るかもしれません。

そして私が体験した大きな感動をぜひ皆さんも味わって欲しいです。

霊南坂 ボーイスカウトの活動

東京 港第1団

第15回日本ジャンボリー



野口宇宙飛行士が交歓会で激励、野口さんは子どもの頃からスカウト、現在もリーダー。サッカー元日本代表の岡田武史監督がゲストとして登場、岡田監督もスカウトOB。!

リーダー感謝の日



5月8日(土) 育成会総会終了後、スカウト教育にいつも奉仕して下さるリーダーに感謝する会を開催しました。



六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SHIMAMOTA PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *
ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 島酒タイム17:00~24:00

第15回日本ジャンボリーに参加して

- テーマ 世界に向かって でっかく羽ばたけ!
- 会期 平成22(2010)年8月2日(月)～8日(日)
参加者は8月1日(日)入場 9日(月)に退場(8泊9日間)
- 会場 静岡県富士宮市朝霧高原
日本全国から1万7000人のスカウト、リーダーが参加。海外から48の国・地域から800人以上が集まった。

ボーイスカウト 加藤 準一郎

楽しかった思い出は限りないので辛かった思い出から。

水に苦労があった。雨に始まり雨に終わるという印象でいつ降るか恐怖だった。断水があって料理にも困った。前日の余ったお茶でパサパサのオートミールの出来上がり。淋しい味だった。でも食べるしかない。他に食材はないからだ。

しかし、そんな事は忘れてしまうほど世界中から集まった仲間との交流は楽しかった。スカウトの持ち寄るグッズの交換に没頭してレア品の入手に頑張った。今回の目玉は「ティラノ」だ。次は「タヌキ」そして「だるま3兄弟」。何の話??分からないカブやビーバーのスカウトたち、大きくなってボーイ隊に来てほしい。ボーイ隊に来れば分かります。ジャンボリーに絶対参加して下さい。

ジャンボリー参加後の僕は、出会いの大切さが分かり自信も付いたと思う。

最後に僕らを支えて下さったリーダー始め多くの方々と共に過ごした仲間へ感謝します。

ひみつ基地 しかスカウト西石垣輝琉

にいがた県の妙高で行われたカブのキャンプでおもしろかったのは、ひみつ基地作りです。

まず、いい基地になりそうな場所をさがします。次に、森の中から草や木を集めてきます。そしてあさひもを使って木の土台を作っていきます。そして最後に人が入れるくらいの広さになったら、まわりを草でおおって人がかくれるようなかべを作ります。ここに、みんなで作った旗などをかければ完成です。きねん写真をとって、基地の中でおかしを食べました。みんなで力を合わせて作ったからうまくなりました。

日本ジャンボリーを見学して

保護者 矢野明子

8月3日、朝霧高原で開かれている第15回日本ジャンボリーの見学に行きました。

到着前から道路沿いのサイトに張られたテントの数に大興奮しました。会場では3隊に分れている港1団のスカウト達がどこかにいないかとキョロキョロしながら進みます。残念ながらスカウトは今日一日場外のプログラムに参加をしていた為に誰とも会えませんでした。しかし、各地から集った沢山のスカウト達の楽しそうな様子に、きっと港1団のみんなも充実した毎日を過ごしているに違いないと思いました。

このようなとても楽しい機会を作っていただきありがとうございました。

保護者 濱田礼子

第15回日本ジャンボリーの見学に参加させていただき、「百聞は一見にしかず」貴重な体験をさせていただきました。そして先輩の方々やリーダーの方のご指導のもと、厳しい活動を目のあたりにして驚いたことも本当です。子ども達には、このような活動を通して忍耐と協働、分かち合う心を培ってほしいと思いました。

今回ビーバー隊の子ども達は、日頃共に活動することの無いお兄さん達のカブ隊と参加したことで、お互いの距離がグーンと縮まり、甘えたり背伸びをして、しっかりと先輩の姿を追いかけている様子が何よりも良かったです。

今回は誠にありがとうございました。

天ぼう王

営業時間
11:30～14:00
18:00～21:00 予約
定休日
日・祭日

〒140-0004
東京都品川区南品川4-6-3
電話・FAX: 03-5460-5519

高五 大が調理します

人生最後のカブキャンプ くまスカウト 渡辺光風

1日目のメインは源流体験です。森の中に入るととても涼しくて気持ちよかったです。水は冷たくて天然のミネラルウォーターという感じがしました。しかし、人をぬかして前へ行こうとする人がいて、組長としては大変でした。

夜に宿泊所から出て星座観察をするのかと思ったら先にゲーム大会をするというので、少し期待しましたがその期待は一しゅんのうちにもみ消されてしまいました。星座観察はくもりだったので室内でやりました。映画館のように暗くして全員だまって見ていたので睡魔に襲われました。僕は星を見るのは好きだけど、星の話に興味はあまりないのでぼんやりと話を聞いていました。寝る時にできるだけ起きていようと努力したけど全員寝てしまっているの、つまらなくなって自分も寝てしまいました。

2日目は9時から秘密基地作りで、これはしかスカウト以外は全員意気投合してやってくれたので簡単でした。骨組みができあがった時にちょうど野外炊事になりました。メニューは豚鍋ごはん付きでした。僕としては結構美味しくできたと思いました。お腹もいっぱいになって、秘密基地作りに戻りました。骨組みの上にはシダの葉をたくさんせました。シダの葉をのせすぎて逆に目立つという事態もおきました。自分たちで作った基地で食べたそばまんじゅうは格別の味でした。キャンプファイヤーの出し物は我々が2組はしっかりとやったのに1組はちゃんとやってくれなかったの、でいまいち盛り上がらなかった。

夜にテントで寝るのは初めてだったからとてもわくわくしました。てつ夜するといっていた2人の人がすぐ寝てしまったので残った3人で深夜まで喋りあかしていました。喋っている途中でたまにトイレに行くときは真っ暗なので3人以上でいくときめていた。トイレに行くだけで胆だめしになるぐらい暗い、さてそろそろ寝ようと思ったら、となりにいた、てつ夜するとか言っていてすぐ寝ぞうが悪い人が僕の寝袋に乗っかってきていた！これでは寝る事ができないのでその人を無理矢理押し返して寝た。3日目。後はただ帰るだけというかんじだった。3日間をふり返ると「集まれ！」といっても無視され何を言っても無視された感じで組長としては相当つらかった。いやあ～それにしても疲れたなあ～

キャンプについて うさぎスカウト すずきともゆき

最初、沢下りが一番楽しかったです。すこし冷たかったからきもちよかったです。水が最初多かったのがだんだん少なくなりました。

生きものをつかまえる時に、いろいろな生物がいるとゆうことがわかりました。

1組は魚をとっているの、うらやましかったです。さいごにホテルのメスをみつけたのがうれしかったです。

はじめてのキャンプ くまスカウト 片岡世界

妙高に、ボーイスカウトで行きました。

そこでは、川のはじまりを探けんしたり、夜はキャンプファイヤーをしたりしました。

東京よりもすずしく、気持ちが良かったです。

ひみつきちを作りましたが、みんなで仲良くいっしょになってやりました。

シダの葉っぱを集め、まるでテントのようなきちができあがりました。

川のはじまりの探けんでは、長い時間みんなががんばって歩きました。水はつめたく、すずしかったです。魚や虫やカエルがいました。こんなにたくさんの生き物を見たのは初めてです。

テントの中でねたのははじめてでした。カブスカウトの仲間といっしょでしたが、みんな楽しそうに話をしていました。

はじめてのキャンプは、一つ一つがはじめてのことばかりでした。すごく楽しくてもう一度行きたいと思いました。

たい長やリーダーたちにお礼を言いたいです。

ど
ん
し
ん

SHOT BAR

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に
お立ちよください
詳しくは、電話かホームページで

<http://www.donshin.jp>

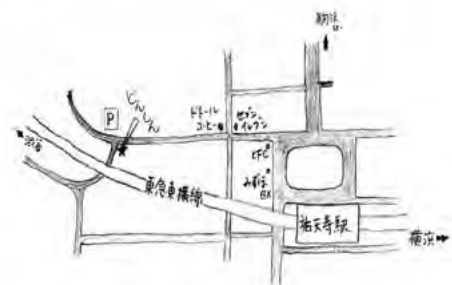
日曜定休

PM 6:00～

目黒区祐天寺 1-22-2 2F

03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です



スカウトOBの吉田進兄から沢田兄が担当しているクラブのホームページを見て便りをよせてくれました。



パリは20度を切り、すっかり秋になりました。

その後日本はどうか。どうか元気で過ごして下さい。

★NHK ラジオに出演します

NHK ラジオ第1 (AM 放送) で毎週末に放送している「地球ラジオ」

の「にっぽんチャチャチャ」というコーナーに、パリからの電話インタビューで出演いたします。コーナーの放送は、10月9日(土)の午後6時10分過ぎ(日本時間)からですが、AM放送のほかインターネットラジオでも聴けます。インターネットの場合、放送と同時のほか、1週間はお好きな時間に聴いて頂くことが出来ます。

近況は下記ホームページをご覧ください。

<http://www.creators-index.com/composer/syoshida/5555/>

今年は下記の予定で一時帰国します。お近くのかた、時間のある方は是非おいでください。

11月12日(金)

名古屋音楽大学：「パリからの演歌熱愛書簡」

11月15日(月)

朝日カルチャーセンター(新宿)：「モーツァルトの儀式音楽」

11月17日(水)

放送大学特別講義収録：「エディット・ピアフ物語」

11月20日(土)

武藤記念講座(大阪)：「シャンソン《枯葉》のすべて」

吉田進兄は昭和22年生まれ、カブスカウトからローバースカウトまで在籍。中学・高校時代から音楽に興味を持ち、慶応義塾大学卒業後、作曲を勉強のため渡仏。

パリ国立音楽院では現代音楽の巨匠メシアン氏に師事。卒業後、パリ近郊にて作曲活動を続ける。

なお、昨年亡くなられた父上もスカウト活動の熱心な推進者で、日本連盟の国際コミッションを長年務められました。

◇インタビュー・編集、安藤昭良

前号より続く

A: ああ、隊長をお辞めになって、それからボーイスカウト運動からも手を引かれたことのいきさつをお話し頂けないでしょうか。

I: ええ。先に言った通り、隊長を3年やり、その間日連の仕事をしており、米国に留学しました。帰国後、しばらくの間、また日連で仕事をしましたが、じきそれもやめました。早い話、経済的な問題が大きかったのです。ボーイスカウトでは食べていけない、ということですね。帰国後の事です。巴町に本部(日連)を建てる時、本部には必要な費用を完全に集め、まかなう能力がなかったのです。その分の穴を私達のような、若かった、第1線に立っていた者たちが集めたのです。このときはウィリアムズ氏の尽力もあって、米軍が日本で行ったサーカスの収入の一部を手に入れることができたのです。その代わり、私達はサンドイッチマンまでやってチケットを売りました。

それからサーカスの場内で物を売ったりして……、何やら本部の資金集めのために随分奔走したものです。

A: 再び現役に戻るなどということは考えたことはありませんか?

I: 考えていません。こんな年のいった者が4団なら4団に行ったらどこで何にもならんでしょ。今の4団は今のリーダーが自分達の考えに従って切り盛りしていけば良い。私のような者が口をはさむべきではないように思います。それにスカウトのリーダーというものは暇があるからやる、とか趣味でやるのかということでは駄目だと思うのです。

しかし決して4隊のことを忘れたのではない。私はこのアルバムを見るたびに懐しく思います。今までいろいろな仕事についてきましたが、結局このアルバムの中の3年間は振り返って見て一番印象に残っている時期です。

それに「一たびスカウトに誓いをたててなりし身は、いつもいつもスカウトだ」という歌がありますが、あの通りだと思うのです。私は確かに表面上、スカウトから離れてしまっていますが、やはり一度スカウトとなった以上、私は一生涯スカウトなのだ、とそう考えています。

A: どうも貴重なお話しを長い時間ありがとうございました。

(文責安藤) 豊南坂スカウト30周年記念誌(1977)より

霊南坂スカウトクラブ 告知板

ホームページ

澤田明秀兄と臼井純一兄による、きめ細かな更新の成果でフランス・パリから吉田進兄、GSの笹本信子さんなど国内外から便りをいただいています。

クラブのURLは下記の通りです。
<http://reinzaka-sc.cocolog-nifty.com/blog/> (ブログ形式)
<http://reinzaka-sc.o.oo7.jp/>
 (ホームページ形式)

皆様のアクセスと投稿をお待ちしています。

チャリティーコンサート

アフガニスタンのスカウト活動を支援するAJ-SEPの恒例となった3回目のスピヴァコフ・チャリティーコンサートを開催します。

ドムラとバラライカの夕べ
 第1回の時、13才であったグリゴリー君が4年ぶりに演奏するバラライカは楽しみです。

日時:2010年11月19日(金)

18時30分 開演

会 場:霊南坂教会 礼拝堂

チャリティー券 大人3,000円・
 小中学生1,000円(全席自由)

主催:AJ-SEP(アフガニスタン・
 日本スカウト交流プロジェクト)

後援:駐日アフガニスタン大使館
 ボーイスカウト東京 港第1団
 ガールスカウト東京都 第4団

霊南坂スカウトクラブ

お問い合わせ・申し込みは
 FAXで
 03-3439-3154まで
 詳しくはホームページ

<http://homepage3.nifty.com/AJSEP/>

をご覧ください。

教会の玄関に、お知らせのチラシ
 があります。

秋のバスピクニック

スカウトクラブのOB渡辺誠兄が8年の歳月をかけて建設中のキャンプサイトを訪ね紅葉のなか昼食パーティーの後、施設を見学します。普段会えないOG/OBはもちろん、現役リーダーやスカウトと交流を深めたいと企画しました。・・・みなさまのご参加をお待ちしています。

記

日時:2010年10月31日(日)

午前7時集合出発～日帰り

場所:新宿西口駅前 スバルビル前

目的地:長野県下水内郡栄村塚5806

スカウト・キャンプ場

参加費:往復バス・昼食代

一名3,000円 小学生2,000円

(朝食・夕食・お菓子は各自で調達)

興味のあるリーダー・スカウトを
 個人参加として無料ご招待します。

ご家族そろって秋のバスピクニック
 をお楽しみください。

定員45名(満席次第締め切ります)

主催:霊南坂スカウトクラブ

メールで申し込み・問い合わせは

担当:澤田明秀

sawadash@jcom.home.ne.jp

携帯電話:090-1619-5887

霊南坂スカウトクラブ役員会

会長	小崎忠雄 霊南坂教会役員会議長
副会長	田中新二 クラブ会報編集長
副会長	西郷崇子
会計・団	大槻敬太郎
会計	小林孝江
会計	浅田きよみ
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信・団	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP・blog	澤田明秀
広報・HP・blog	臼井純一
教会・団	古谷久代 ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳健一

TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木1-3-41(アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX:03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂3-4-9

TEL:03-3422-5538 FAX:03-3421-3034

編集後記

近年、スカウトクラブへの登録数も増え、海外からも毎回楽しみな便りが寄せられています。

是非、国内からも皆様の近況をお知らせ頂きたいと願っています。

いまハマッていること、ご家族のこと、お仕事のこと、スカウト活動の思い出などお寄せください。

この会報とホームページが霊南坂スカウト全員を結ぶ絆の役を果たせるよう願っています。

田中新二